

授業科目(ナンバリング)	公衆栄養学Ⅱ (IB271)			担当教員	岡本美紀		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	2 年・後期	必修・選択	必修
授 業 の ね ら い							アクティブ・ラーニングの類型
公衆栄養学Ⅰで修得した知識を基に、対象集団の状況を的確に把握し、適切な栄養関連サービスを提供するプログラムの作成・実施・評価の総合的なマネジメントに必要な理論や方法の修得と、各種サービスやプログラムの調整、人的資源など社会的資源の活用、コミュニケーションの管理などの仕組みについて理解することを目指す。							①②③④⑨⑩
ホスピタリティを構成する能力	学 生 の 授 業 に お け る 到 達 目 標				評価手段・方法		評価比率
専門力	健康・栄養状態の把握のための調査の手法について説明および活用ができる。 実際に行われている公衆栄養活動の実施の詳細について説明ができる。				定期試験 小テスト 授業態度・授業への参加度		25% 10% 5%
情報収集、分析力	健康・栄養状態の把握するための調査方法の選定ができる。 集団の健康や栄養摂取状態から課題を見つけることができる。				定期試験 授業外レポート		25% 8%
コミュニケーション力							
協働・課題解決力							
多様性理解力	集団に対する公衆栄養プログラムの実施のために必要な情報収集することができる。 実際に行われている公衆栄養活動の策定の背景について説明ができる。				定期試験 小テスト		20% 7%
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
定期試験として筆記試験（穴埋め式、筆記式の混合）を行う（70%）。単元が終わるごとにその内容に関する小テストをポートフォリオで行い、概念や語句の理解についての設問の正答率を専門力及び多様性理解力を示すものとして評価する（17%）。第 5・7 回目には授業に関する課題レポートを行う。授業外レポートは、ポートフォリオのアンケートを用いて摂取量の分析・処理の方法および栄養素等摂取量の評価を行えるかを分析力として評価をする（8%）。授業態度・授業への参加度では、授業への積極的取組を教員の主観的観点から評価する（5%）。 定期試験は、基本概念や栄養改善活動の詳細や専門用語等の理解から、栄養士・管理栄養士の基本的知識となる事項を基に設問を行い、知識および技能の理解や修得状況について総合的評価を行う。 小テストのフィードバックは授業内にてレスポンスを用いて解答と解説をすることによって行う。授業への質問等についてはポートフォリオや出席票にて受付け、その返答は、授業開始時に記載者を特定できないよう配慮して行う。							
授 業 の 概 要							
・講義形式で行い、必要に応じてレジュメなどプリントなどの資料を配付する。 ・健康・栄養状態の判定のために行われる方法とその適した方法について把握する。 ・地域や職域の健康・栄養問題の改善に向けて取組みの仕組みについて把握する。 ・行政施策や保健活動など、社会や生活環境の特徴に基づいた公衆栄養活動について把握する。 ・この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、180 分である。							
教 科 書 ・ 参 考 書							
教科書：Nブックス 六訂 公衆栄養学（建帛社）、管理栄養士・栄養士必携—データ・資料集—〈2023 年度版〉（第一出版）食事摂取基準（2020 年版）（第一出版） 参考書：食事調査マニュアル（南山堂）（栄養疫学・食事調査の内容）・地域診断のすすめ方（公衆栄養マネジメント・公衆栄養プログラムについての資料） 指定図書：教科書と同じ							
授 業 外 に お け る 学 修 及 び 学 生 に 期 待 す る こ と							
・食生活改善、栄養改善を目的とした取組など、地域で行われていることに興味を持つこと。 ・あらかじめ次回の授業内容について、テキスト等の該当ページを読んで置くこと。また、授業終了後には、授業内容について復習をして内容の理解を深めること。 ・授業中は、受講者としての常識的な態度で臨み、特別な事情を除き無許可での途中退室は認めない。 ・レスポンス行うとき以外の携帯電話の無断使用および不必要な使用は厳禁である。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	栄養疫学 1	食事摂取量の測定方法 ①	復習:食事調査の種類と方法について、調査手法の違いを理解する。 予習:食物摂取頻度調査等の方法、信頼度のテキスト該当頁を確認する。
4	栄養疫学 2	食事摂取量の測定方法 ②	復習:食物摂取頻度調査を理解し、生体検査値が示す事項の理解を深める。 予習:栄養疫学・研究デザイン別方法についてテキスト該当頁を確認する。
2	栄養疫学 3	栄養疫学の概要	復習:栄養疫学・研究デザイン別方法について理解する。 予習:疫学調査での栄養素等摂取量のデータの留意点のテキスト該当頁を確認する。
3	栄養疫学 4	曝露情報としての食事摂取量	復習:疫学調査での栄養素等摂取量のデータの留意点を理解する。 予習:栄養素等摂取量を疫学分析するための処理の方法やその意義を調べる。
5	栄養疫学 5	曝露情報としての食事摂取量②(課題レポート)	復習:栄養素等摂取量を疫学分析する方法を確認・理解する。 予習:食事摂取基準の用途、指標の定義について調べる。
6	栄養疫学 6	食事摂取量の評価方法 ①	復習:食事摂取基準を用いた集団の食事摂取状態の評価と食事改善計画を理解する。 予習:食事摂取基準を用いた集団の食事摂取状況の評価と改善計画を調べる。
7	栄養疫学 7	食事摂取量の評価方法 ②(課題レポート)	復習:食事摂取基準を用いた集団の食事摂取状態の評価と食事改善計画を理解する。 予習:居住市町村の特性から、健康・栄養状態の課題などを調べる。
8	公衆栄養マネジメント 1	公衆栄養マネジメント	復習:公衆栄養活動の過程と重要性について理解する。 予習:公衆栄養アセスメントの方法および内容についての該当頁を読み理解する。
9	公衆栄養マネジメント 2	公衆栄養アセスメント	復習:アセスメント方法定について理解を深める。 予習:目標設定・計画設定に向けてのアセスメントを調べる。
10	公衆栄養マネジメント 3	公衆栄養プログラムの目標設定 公衆栄養プログラムの計画策定①	復習:計画実施に向けてのアセスメントの理解を深める。 予習:住民参加および地域社会資源について調べる。
11	公衆栄養マネジメント 4	公衆栄養プログラムの計画策定② 公衆栄養プログラムの実施①	復習:住民参加の重要性および地域社会資源について調べる。 予習:行政の栄養業務および事業評価を調べる。
12	公衆栄養マネジメント 5	公衆栄養プログラムの実施② 公衆栄養プログラムの評価	復習:行政の栄養業務および事業評価を確認・理解する。 予習:地域で実施されているプログラムについて調べる。
13	公衆栄養プログラムの展開 1	地域特性に対応したプログラムの展開	復習:地域で実施されているプログラムについて理解を深める。 予習:法律等に規定されている食環境整備について調べる。
14	公衆栄養プログラムの展開 2	食環境づくりのためのプログラムの展開	復習:食環境整備の考え方、方法や留意点を理解する。 予習:ライフステージや生活習慣病ハイリスク集団に対するプログラム内容を調べる。
15	公衆栄養プログラムの展開 3	地域集団の特性別プログラムの展開	復習:ライフステージ別や生活習慣病ハイリスク集団に対するプログラム内容を理解する。
16	定期試験		